

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道 152号 小塩 ^{ゆいじん} ～由井神バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県																		
起終点	自：長野県下伊那郡大鹿村小塩 至：長野県下伊那郡大鹿村由井神	延長	6.8 km																				
事業概要	<p>一般国道152号は、長野県上田市から静岡県浜松市に至る延長約256kmの幹線道路であり、遠山谷を縦貫する唯一の幹線道路であることから、沿線地域の重要な生活道路でもある。小塩～由井神バイパスは幅員狭小、線形不良区間の改良を目的とした延長6.8kmの2車線道路である。</p>																						
S52年度事業化	都市計画決定 なし	S53年度用地着手	S54年度工事着手																				
全体事業費	約57億円	事業進捗率	89%	供用済延長	5.9 km																		
計画交通量	1,900 台/日																						
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>B/C</td> <td>総費用</td> <td>総便益</td> <td>基準年</td> </tr> <tr> <td>(事業全体) 1.1</td> <td>(残事業)/(事業全体) 6 / 10 億円</td> <td>(残事業)/(事業全体) 11 / 11 億円</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">平成15年</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 1.8</td> <td>事業費：5/8 億円</td> <td>走行時間短縮便益：9/9 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費：1/1 億円</td> <td>走行費用減少便益：1/1 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益：0/0 億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体) 1.1	(残事業)/(事業全体) 6 / 10 億円	(残事業)/(事業全体) 11 / 11 億円	平成15年	(残事業) 1.8	事業費：5/8 億円	走行時間短縮便益：9/9 億円		維持管理費：1/1 億円	走行費用減少便益：1/1 億円			交通事故減少便益：0/0 億円					
B/C	総費用	総便益	基準年																				
(事業全体) 1.1	(残事業)/(事業全体) 6 / 10 億円	(残事業)/(事業全体) 11 / 11 億円	平成15年																				
(残事業) 1.8	事業費：5/8 億円	走行時間短縮便益：9/9 億円																					
	維持管理費：1/1 億円	走行費用減少便益：1/1 億円																					
		交通事故減少便益：0/0 億円																					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保(利便性の向上が期待できるバス路線がある) ・災害への備え(長野県地域防災計画の地震防災対策強化地域の緊急輸送路に位置づけられている) <p style="text-align: center;">他3項目に該当(定量的評価項目を除く)</p>																						
関係する地方公共団体等の意見	<p>大鹿村を含む関係2市4町6村の首長で構成する国道152号整備促進期成同盟会より改良促進の要望(平成15年10月30日)を受けている。</p>																						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>バイパス整備により、落成等の危険箇所が減り、安全な交通の確保が可能となった。</p>																						
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>現在までに5.9 kmが供用済みである。</p>																						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>今後は大型車のすれ違いが困難な小渋橋の架け替えを進め、平成18年度全線開通予定である。</p>																						
施設の構造や工法の変更等	<p>既設道路施設の利用によりコスト縮減を図っている</p>																						
対応方針	事業継続																						
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、残区間を整備することにより、当初の目的が達成されと考えられる。</p>																						
事業概要図	<div style="text-align: center;"> <p>小塩～由井神バイパス L=6.8 km</p> <p>開通済 L=5.880 m</p> <p>現小渋橋 L=105.8m W=5.5m</p> <p>大鹿村役場</p> <p>まつかわまち 至 松川町</p> </div>																						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。